

2023(令和5)年度の 富山市域の温室効果ガス排出量等について

令和8年3月

本市の温室効果ガス排出量削減目標

中期目標 2030年度の目標

区域施策編:2013年度比で

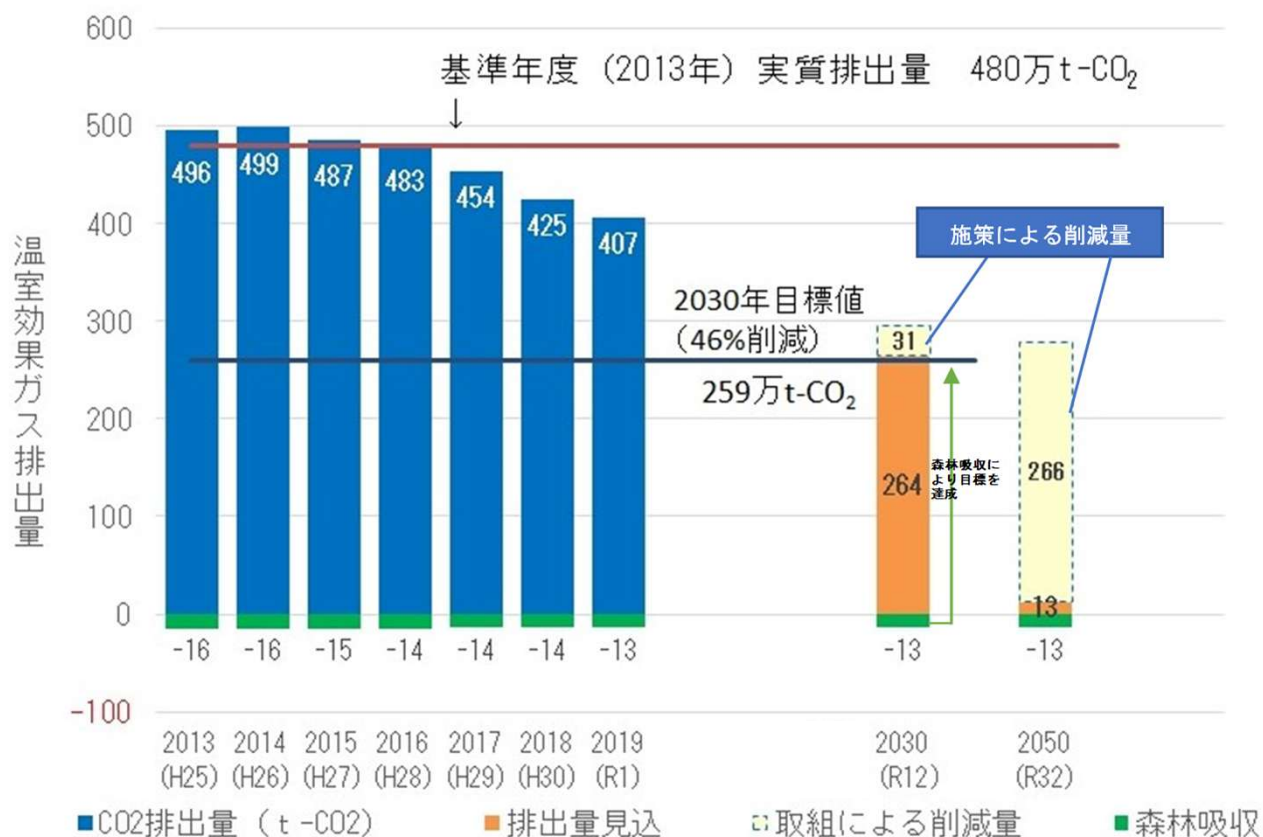
46%削減

長期目標 2050年の目標

区域施策編:

2050年に温室効果ガス

排出量実質ゼロ



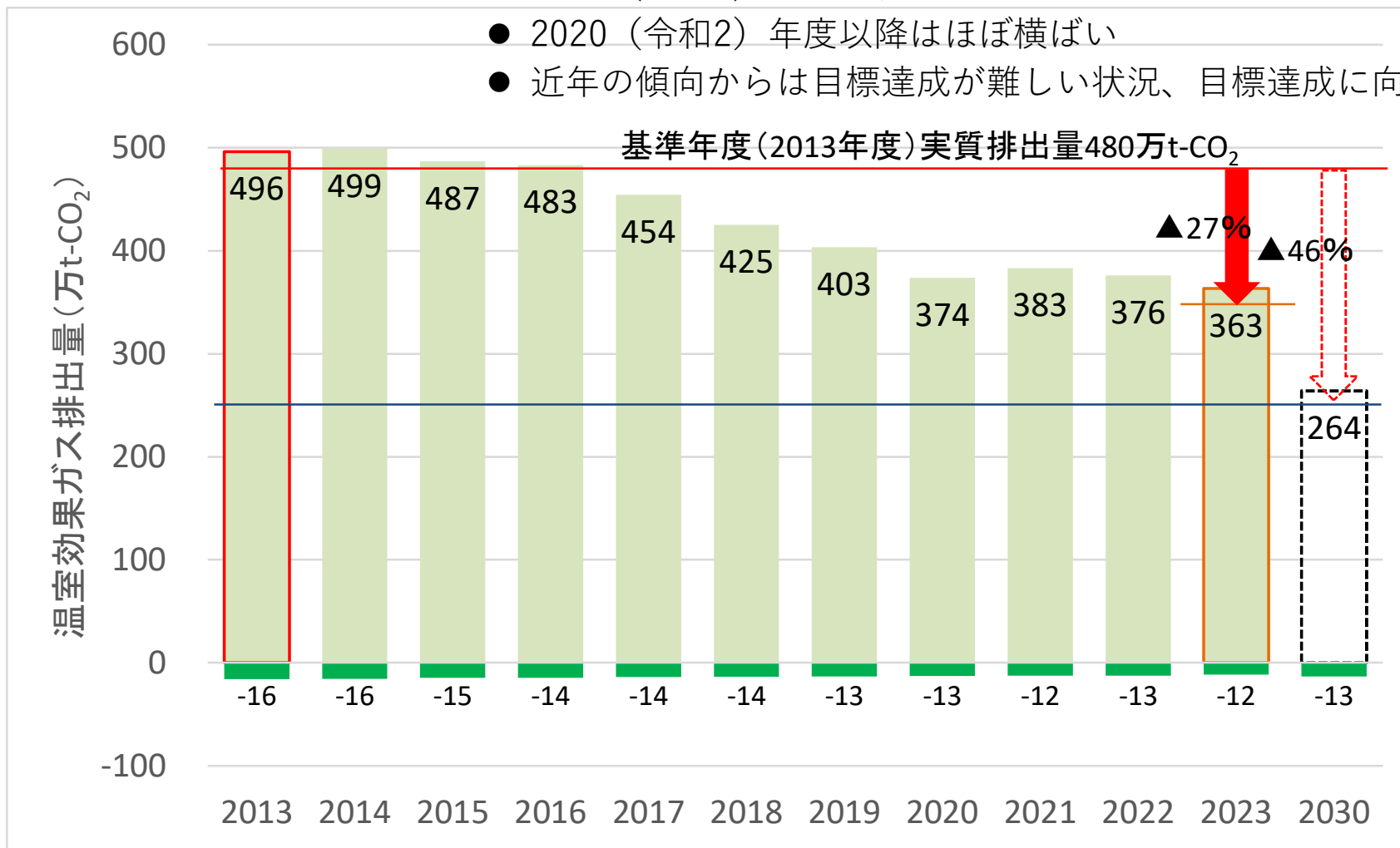
2023 (令和5) 年度の排出量

部門・分野	2005年度 平成17年度	2013年度 平成25年度	2022年度(確定値) 令和4年度	2023年度(暫定値) 令和5年度		
	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	排出量 (t-CO ₂)	2005比 (%)	2013比 (%)
エネルギー起源CO ₂	3,850,178	4,539,807	3,245,948	3,112,001	▲19	▲31
エネルギー転換	45,893	44,579	34,091	26,586	▲42	▲40
産業部門	1,491,339	1,733,105	1,191,769	1,125,123	▲25	▲35
民生・家庭	709,257	986,878	693,628	673,475	▲5	▲32
民生・業務	631,936	849,678	586,692	553,045	▲12	▲35
民生・その他	11,606	16,495	12,744	12,728	10	▲23
運輸	960,147	909,054	727,024	721,044	▲25	▲21
その他※	380,220	422,047	514,807	522,506	37	24
温室効果ガス排出量	4,230,398	4,961,854	3,760,755	3,634,507	▲14	▲27
森林吸収量	▲182,974	▲159,254	▲125,022	▲115,093	—	—
実質排出量	4,047,424	4,802,600	3,635,733	3,519,414	▲13	▲27

※その他：非エネルギー起源CO₂、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等4ガス

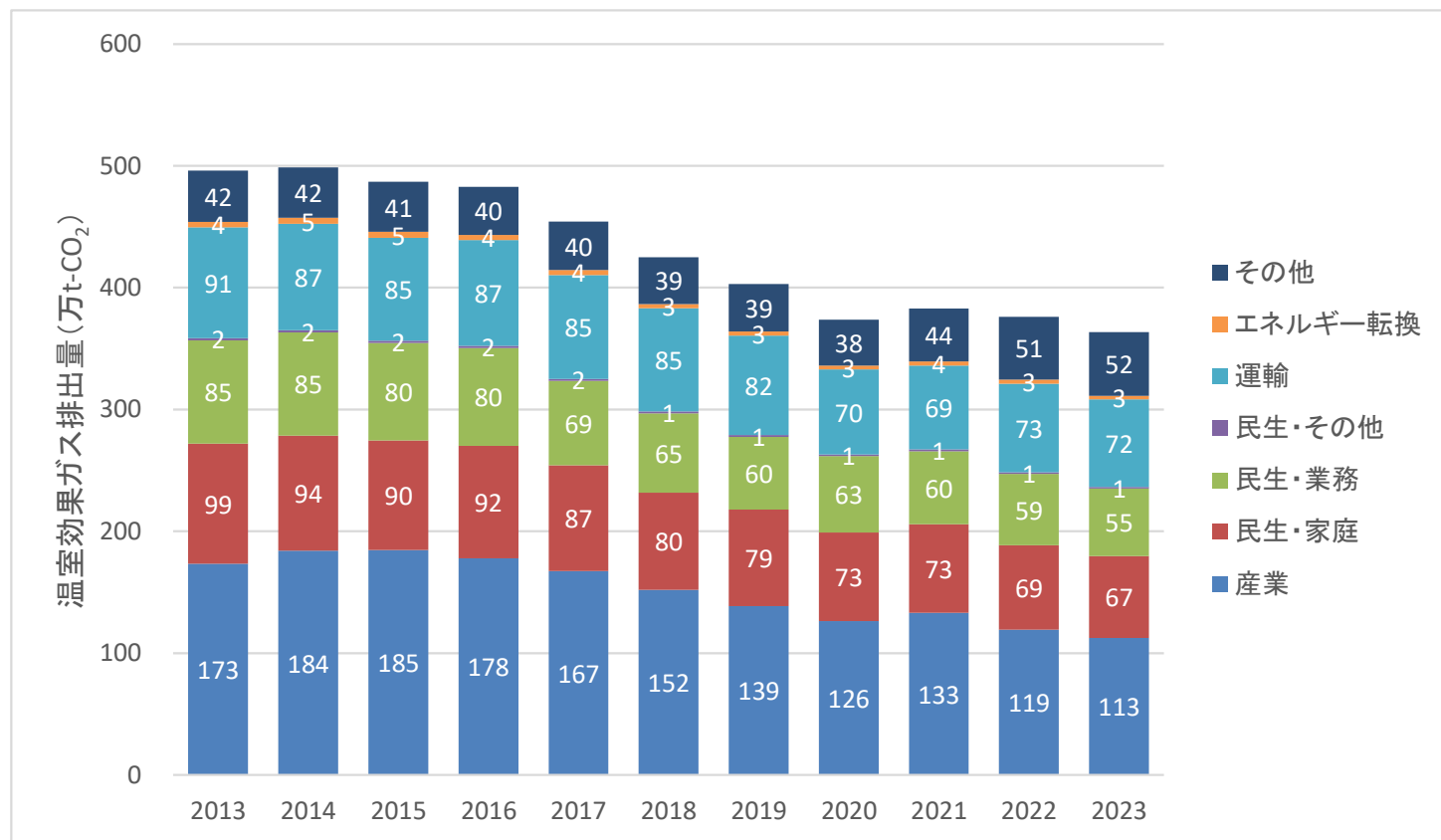
温室効果ガス排出量の推移

- 2023（令和5）年度は、基準年度比27%減
- 2020（令和2）年度以降はほぼ横ばい
- 近年の傾向からは目標達成が難しい状況、目標達成に向けて取組の加速が必要



- 温室効果ガス排出量
- 基準年度
- 2023年度
- 排出量見込
- 森林吸収量

温室効果ガス排出量の部門別内訳



- 各部門で省エネ対策等による温室効果ガス排出削減が進む
- 産業部門と民生部門・業務の削減比が大きく、基準年度比35%減
- 産業・民生部門の温室効果ガス排出量の減少はエネルギー消費量が最も多い電力の排出係数の低下の影響も大きな要因

本市の再生可能エネルギー導入目標

2030年度：22.5億kWh(2.2億kWh×2+18.1億kWh)

電力需要に対する再生可能エネルギー導入割合…約48%

2050年：29.1億kWh(2.2億kWh×5+18.1億kWh)

電力需要に対する再生可能エネルギー導入割合…約65%

- 太陽光発電・中小水力発電・バイオマス発電の導入量を2030年度に2倍、2050年に5倍の導入を目指す



本市の再生可能エネルギー導入量

再生可能エネルギー種別	導入実績量	
	2021 年度末	2023 年度末
太陽光発電	13,565.3 万 kWh	14,107.9 万 kWh
うち、住宅	3,095.5 万 kWh	3,543.8 万 kWh
うち、非住宅	10,469.8 万 kWh	10,564.1 万 kWh
中小水力発電	7,992.7 万 kWh	8,084.9 万 kWh
大規模水力発電	181,156.8 万 kWh	181,156.8 万 kWh
風力発電	0.0 万 kWh	0.0 万 kWh
バイオマス発電	328.1 万 kWh	328.1 万 kWh
うち、木質	0.0 万 kWh	0.0 万 kWh
うち、消化ガス	328.1 万 kWh	328.1 万 kWh
合計（※大規模水力を除いた値）	20.3 (2.2) 億 kWh	20.4 (2.3) 億 kWh

- 2023（令和5）年度の再生可能エネルギー導入量20.4億 kWh
- 2030年度の再生可能エネルギー導入目標22.5億kWhに対して約90%
- 2021（令和3）年度末から2023（令和5）年度末の2年間で0.1億kWhの増加のみ、目標達成に向けて取組の加速が必要